

INDEX vol.51

02 対談 フリーキャスター・千葉大学客員教授 木場弘子 × 千葉大学長 徳久剛史 国際社会で活躍できるリーダー育成を目指す

千葉大学 OG で現在フリーキャスターとして活躍する木場弘子さんを
 ゲストに迎え、徳久剛史学長と語り合っていました。



06 千葉大生の^{からだ}ころと身体を考える

千葉大生の皆さんが心身ともに健康な学生生活を送るために
 準備しておきたいこと、知っていてほしいことを紹介します。



08 千葉大学 OBOG インタビュー

千葉県で会社経営者として活躍する OB が登場!



10 TOPICS / もっと知りたい千葉大学

[表紙 (右から)]

木場 弘子 (きば・ひろこ)
 フリーキャスター・千葉大学客員教授

徳久 剛史 (とくひさ・たけし)
 千葉大学長



今号の特集では、1987年に教育学部を卒業した木場弘子さんが登場。卒業生の
 目線、そして多方面で活躍するフリーキャスターとしての目線から、ENGINEをは
 じめとした千葉大学が力を入れているグローバル人材育成や大学経営など幅広い
 テーマについて徳久学長と語り合っていました。千葉大生の皆さんへ、先輩
 からのメッセージをお届けします。

(撮影:浦安ブライトンホテル 東京ベイ)

特集

対談 フリーキャスター・千葉大学客員教授 木場弘子 × 千葉大学長 徳久剛史

国際社会で活躍できる リーダー育成を目指す

千葉大生の^{からだ}ころと身体を考える

千葉大学 OBOG インタビュー



徳久剛史

千葉大学 学長



徳久 剛史（とくひさ・たけし）

1973年、千葉大学医学部卒業。1980年、千葉大学大学院医学研究科博士課程修了。大学院時代にスタンフォード大学医学部、助手時代にドイツのケルン大学附属遺伝学研究所に留学。千葉大学医学部助手、神戸大学医学部教授、千葉大学医学部教授を経て、2014年、千葉大学長に就任。専門は免疫学。医学博士。

国際社会で活躍できるリーダー育成を目指す

特集

対 談

国際教養学部の一学期生が卒業を迎える
千葉大学のOGであり、フリーキャスター
木場弘子さんをゲストに迎え、千葉大学
幅広いテーマについて、徳久剛史学長

英語だけの環境に入れば
自然と英語力は身につく

徳久 この10年、千葉大学では、「グローバル人材育成推進事業」「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されたのを皮切りに、2016年には海外留学を必修化した文理混合の国際教養学部を設置するなど、グローバル教育の強化を図ってきました。そこで、中央教育審議会をはじめ、さまざまな審議会のメンバーを務めるフリーキャスターの木場弘子さんをお迎えして、現在の千葉大学の取り組みについてご意見をいただきたく思います。

木場 千葉大学には2001年に教育学部で非常勤講師をさせていただいてから20年お世話になっています。徳久学長に初めてお会いしたのは6年前の2014年ですが、その時にもグローバル教育に注力しているというお話を伺いました。その後、ますますグローバル化は加速しているようですね。本日は、大学の経営や教育方針についてのお話も楽しみにしています。

徳久 木場さんは各省庁の審議会委員だけでなく、企業の監査役や団体理事などもされていますね。グローバル化の流れを感じることはありますか。

木場 まずはやはり英語の重要性を感じます。私が監査役を務めるエネルギー関連企業では20カ国で70ものプロジェクトが動いています。その関連でスピーチを頼まれたりする機会もあり、まさに今、必要に迫られて英語をやらなければ、とひしひしと感じています。

徳久 英語は経験と度胸ですね。私が学生時代に留学したときも最初は物怖じして話せませんでした。その国にいて話す機会さえあればどんどんできるようになりました。その経験があったので、自分が教授になったときに、英語だ

2020年春。

として多方面で活躍する

のグローバル人材育成や大学経営など、
と語り合っていました。

けの環境をつくってしまおうと思い、大学院の論文指導やディスカッションを英語だけにしたら、みんなみるみる英語が上達しました。30年ほど前のことです。

木場 30年前ですか！ある意味、千葉大学のグローバル教育の原点は徳久学長だったのでは。私が最近視察したある大学は、外国人学生が半分を占めていましたが、徳久学長がおっしゃる通り、ディスカッションやプレゼンテーションを英語でやっていました。

徳久 英語に関しては、それが当たり前の時代になっていると思います。千葉大学も、齋藤前学長が築いてくれた基盤をベースに、まさに今、本格的にグローバル教育に乗り出しているわけです。

ENGINE プログラムで
留学中でも単位取得が可能

木場 そうした時代に活躍できるグローバル人材を育成するために、千葉大学ではどのような取り組みをされているのか、ぜひ教えてください。

徳久 最新の取り組みとしては、2020年度入学生から、グローバル人材の育成プログラムである「ENGINE(Enhanced Network for Global Innovative Education)」を始めました。これは、全員留学、外国人教員の雇用、ICTを活用したスマートラーニングの3つが柱となっています。

木場 全員留学と外国人教員の雇用は、先ほどおっしゃっていた「英語だけの環境」につながりますね。スマートラーニングは、なぜグローバルと結びつくのですか。

徳久 例えば学生が1年間の長期留学をした場合、その期間は卒業に必要な必修科目の単位が取れないので留年ということが起こりえま

木場弘子

フリーキャスター・千葉大学客員教授



木場 弘子（きば・ひろこ）

1987年、千葉大学教育学部卒業後、TBSに入社。同局初の女性スポーツキャスターとして『筑紫哲也ニュース23』などで活躍。92年与田剛氏（現・中日監督）との結婚を機にフリーランスに。教育や環境に関わる仕事が多く、7つの省庁で幅広く審議に参加。各界トップへのインタビューは300人を超える。

す。そうしたときに、インターネットを介したスマートラーニングで海外からでも必修単位を履修できれば、安心して長期留学ができるんです。

木場 なるほど。単位の心配をせずに、思う存分、海外経験ができるんですね。留学



は、それなりに負担があると思いますが、学生の評価はいかがですか。

徳久 千葉大学の学部入学志願者数は5年連続、国立大学で1位です。これ

は、千葉大学のグローバル教育が認知されている証拠なのではないかと自負しています。

木場 5年連続1位は、OGとしては嬉しい限りです。全員留学となると、留学先を確保するのも大変でしでしょう。

徳久 この6年間で、アメリカ、ヨーロッパ、アジアにグローバル拠点をつくってきました。学生たちの自主性を育むために、留学先はこちらで指示しません。SULA(Super University Learning Administrator)という学習支援専門の職員と相談しながら、学生自身が留学先を選ぶような仕組みになっています。

木場 たしかにグローバルに活躍するには、受け身ではなく、自分で考えて動けることは重要だと思います。英語というツールを使って、自分の考えをいかに伝えるかということでしょうか。

「大学院を「学府」に再編し 複数の専門を持った人材を育成

木場 続いて、大学院についても話を伺いたいのですが、千葉大学は大学院機能を強化していると聞いています。具体的にはどのような取り組みをされていますか。

徳久 私は、千葉大学から世界でリーダーとして活躍できるような博士人材を社会に送り出したいと考えています。海外で必要とされる優秀な人材はどういう人かという、複数の専門を持った人材なんです。現在の大学院でも、特定の専門分野の知識を持って世界で活躍できる人は育成できますが、学問分野の垣根を越えて活躍できる人を育成できる大学院はなかなかない。自分の専門をひとつ持ちながら多様な分野に幅を広げて学ぶことが重要です。大学院でそういう学び方をするにはどうすればいいのかを考えたときに、「学府」という考え方が出てきました。

木場 「学府」になると教育の内容はどう多様化するのでしょうか。

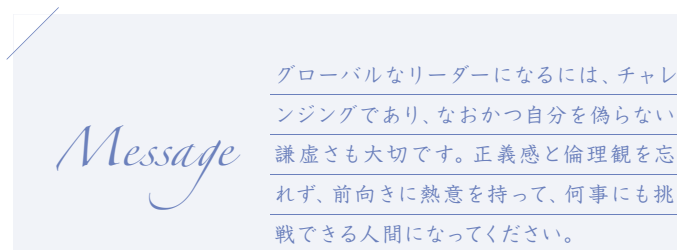
徳久 まずは亥鼻キャンパスの医学部と薬学部の出身者が進学する大学院を「医学薬学府」に統合しました。こうすることで、例えば医学部出身の学生が薬学についても学べるようになり、知識の幅を広げることができるようになります。

木場 複数の専門を身につけるには、学べる範囲を広げる必要がありますので、これは理にかなっていますね。

徳久 この仕組みがうまくいったので、他の大学院も同じように「学府」に再編し、「融合理工学府」と「人文公共学府」ができました。この医薬・理工・人文科学の3つの軸で推進する教育研究を「トリプルピークチャレンジ」と呼んでいます。

木場 学生がそれぞれの「学府」で自分が学びたいことを幅広く学べるというのは、素晴らしい着眼点であり、社会に出た際にさまざまな応用ができると思います。

徳久 面白いのはここからなんです。各大学が強みを活かした大学院改革を行う「卓越大学院プログラム」という文部科学省の事業があり、昨年度は全国の大学で11件が選定されたのですが、千葉大学はこのうち2件が採択されました。「革新医療創生」と「臨床人文学」で、このうち「革新医療創生」は、医学薬学府と融合理工学府にまたがる内容です。例えば、工学の修士号を持つ人材が、医学の博士課程に進むといった学び方もできます。



グローバルなリーダーになるには、チャレンジングであり、なおかつ自分を偽らない謙虚さも大切です。正義感と倫理観を忘れず、前向きに熱意を持って、何事にも挑戦できる人間になってください。



社会で活躍するには引き出しの多さが武器になります。経験したことはいつか必ず役立つときが来ます。まずは挑戦してみましょう！幅広くさまざまな分野に関わることで自身にも付加価値が生まれ、可能性が広がっていきます。

木場 分野をまとめた「学府」をさらに横断するんですね。以前、医療系機器のメーカーを取材したときに医工学という分野について聞いたことがあります。医学系と理工系の「学府」にまたがっているというのはそういうことですね。

徳久 その通りです。医学と工学の両方の知識を持った、医工学の最先端をリードする博士人材を育てたいと思っています。

木場 まさに複数の専門を持った人材が育成できるわけですね。

総合大学ならではの取り組みで 他分野に広がる可能性

徳久 続いて、千葉大学の経営についてもご意見をいただけたらと思います。法人化以降、国立大学も企業のように経営的視点で運営する必要に迫られています。一例として、千葉県が世界のヨウ素の21%を生産していることから、千葉ヨウ素資源の高付加価

値化のため千葉県下のヨウ素生産会社6社と共同研究するために、文部科学省からの補助金で学内に産学官オープンイノベーション拠点を作るなどの取り組みを行っています。

木場 大学の収入は運営費交付金と授業料のほか、企業との共同研究や受託研究などの外部予算も重要になりますね。

徳久 その通りです。でもこれまでの共同研究費や受託研究費は、すべて目的の研究推進にしか使えませんでした。しかし、5年ほど前からこれらの研究費に間接経費をつけることができるようになりました。間接経費は、研究の基盤となる経費として使用することができるので、大学の経営資金としても重要になってきています。千葉大学では研究にかかる直接経費の3～4割を間接経費として上乗せする仕組みをいち早く取り入れました。米国の大学などでは間接経費の割合が6割7割といった話も耳にしますが、日本は間接経費をつける制度がまだスタートして間もないので一気に上がらないですね。千葉大学では、この間接経費でコーディネーターや知財の専門家を雇って、教員の研究を企業のニーズとマッチングさせたり、企業との契約のマネジメントをしったりしています。その結果、産学共同研究が増えて利益が出るようになったんです。それで、このような仕組みをもっと拡大して組織的にやろうということで、イノベーション・マネジメント・オフィス(IMO)として内閣府国立大学イノベーション創出環境強化事業に申請して1位で採択されました。

木場 全国の国立大学で1位とは驚きですね。ENGINEや卓越大学院、IMOとお話を伺いましたが、徳久学長が考える未来の千葉大学はどのようなものなのですか。

徳久 先ほど出てきたトリプルピークチャレンジの進化系として、マルチサミットチャレンジというものを考えています。

木場 さっきは3つだった頂がもっと増えるんですね。これはまさに総合大学ならではの強みですし、可能性が積算で広がっているように感じます。

徳久 その通りです。例えば災害などは、急性期の対応は確立しているのですが、慢性期は見落とされています。マルチサミットのような形なら分野の狭間にある学問も網羅できるので、誰もやったことがないような分野の研究にもつながっていくわけです。

木場 お話を伺っていて、大学がこれだけさまざまな仕組みを準備しているとは、今の学生がうらやましいですね。これらを上手に利用してどんどん挑戦してほしいですね。時間が戻るなら、私も入学から千葉大学で学生生活を送ってみたいです。

徳久 グローバルな場で活躍できる人材を送り出すのはもちろん、大学としてもまだまだ新しいことに挑戦していこうと思います。今日は貴重なご意見をありがとうございます。



千葉大生の こころと身体を 考える



授業、研究、部活動やサークル活動、留学にアルバイト……
大学生の毎日は忙しく、考えないといけないことはたくさん
あるけれど、自分自身の「こころと身体」の健康について考える
時間も大切です。
ここでは、千葉大生の皆さんが心身ともに健康な学生生活
を送るために、準備しておきたいことや知っておいてほしい
ことをご紹介します。

総合安全衛生管理機構の医師 潤岡 励子 准教授、
学生相談室のカウンセラー 大川 浩明 さん、櫻庭 智子さんにお話を伺いました。



総合安全衛生管理機構



学生相談室(学生支援プラザ内)

1

健康診断を受けよう

自分の健康状態を知るために、年に1度、健康診断を必ず受けましょう。

千葉大学総合安全衛生管理機構では、西千葉・亥鼻・松戸キャンパスで健診を行います。
受診に必要な予約と問診入力、学内のネットワークに接続している端末から行うことができます。

- 学部新入生は他学生と検査項目が異なります。
できる限り指定日に受けてください。

2020年度の
西千葉・亥鼻・松戸キャンパスの
健康診断日程はこちら



- 海外留学や研修で必要な健康診断証明書は、総合安全衛生管理機構で、学生の求めに
応じて無料で発行しています。証明内容は渡航先(国や地域)、大学、滞在期間によって異
なるので、お早めにご相談ください。
なお、証明書の発行サービスを受けるためには、当該年度の健康診断を受けていることが
必要です。

2

もしものときに備えよう

進学を機に一人暮らしを始めた人も少なくないと思います。体調を崩したときや怪我をしたときなどの
「もしものとき」のために、常に備えておきましょう。

- 救急箱と非常食・常備食を準備しましょう。

＜救急箱＞

(一例)

- ・体温計
- ・市販薬
- ・常備薬
- (胃腸薬・整腸剤、痛み止め、かゆみ止め、湿布薬等)
- ・毛抜き
- ・爪切り
- ・保温用カイロ
- ・綿棒
- ・絆創膏、ガーゼ、消毒薬(年に1度入れ替える)

＜非常食・常備食＞

(一例)

- ・おかゆなどのレトルト食品
- ・スポーツドリンク、経口補水液、水
- ・簡単に食べられるパンや缶詰
- ・冷凍野菜やフルーツなど
- (災害時の目安は3～7日分)

＜その他＞

懐中電灯も
あると
よいでしょう

- 大学内にいるときに体調を崩したり怪我をした場合
は、大学内の保健室を利用してください。

西千葉・亥鼻・松戸キャンパスの
保健室の場所や
開室時間はこちら



- 千葉大学周辺の夜間や休日の診療に関する情報も、
総合安全衛生管理機構のホームページにリンクを掲
載しています。ブックマークしておくとう便利です。

総合安全衛生管理機構
リンクページはこちら



3

一人で悩まず相談しよう

大学内には困ったことがあったら気軽に相談できる場所がたくさんあります。
「大学生になったから」と一人ですべて解決しようとせず、そういった場を活用して、
上手に相談できる「相談力」を身につけていくことも大切です。

学内の相談
窓口はこちら



- 学生生活全般で相談したいときは

学生相談室では、**本学に在籍する学生の修学・進路・生活・人間関係など学生生活にかかわる相談を受け付けています。**平成30年度は、延べ3000件弱の相談がありました。本
学学生に関する相談であれば、ご本人でなくても教職員や保
護者、友人からも受け付けています。お気軽にご相談くださ
い。
西千葉キャンパスの学生支援プラザ内のほか、亥鼻キャン
パス・松戸キャンパスでも開室しています。

Q 学生相談室に相談したら、どのように対応
してもらえますか?



A 相談者の話を聞き、整理し、ご本人とできることを一緒に
探します。必要があれば、外部の専門的な相談窓口を紹
介することもあります。まずは何よりも「相談者ご自身がど
うしたいか」を尊重しています。

Q 秘密は守ってもらえますか?



A 原則として、相談者の了承なく相談内容を他者に伝える
ことはありません。(相談者ご自身やその他の人の安全が
脅かされる危険性がある場合は、その限りではありません)

Q どのような人に相談に乗ってもらえますか?



A 臨床心理士や公認心理師などの資格を持ったカウンセ
ラーが相談に応じます。幅広い年代のカウンセラーが在
室しています。相談内容に応じて、グランドフェロー*が元
教育者・研究者の立場からアドバイスしてくれます。

*本学に長年勤務し退職された後、学長の委嘱により学生相談を担当
されている先生

- メンタルヘルスが心配なときは

総合安全衛生管理機構では、メンタルヘルス
に関係する相談を受け付けています。心の健
康が心配なとき、メンタルヘルス相談窓口を利用
してください。(予約制)

- その他の相談窓口について

「就職活動は何から始めればいいのか?」
「進学か就職か迷っています」

就職支援課にご相談ください。現在就活中の
学生も、これから就活を始める学生も相談でき
ます。

「これってハラスメント?」

各キャンパスで、学内相談員(学内の教職員)
および外部相談員(臨床心理士)によるハラ
スメント相談を受け付けています。

- 24時間電話 健康・メンタルヘルス相談サービス
「学生相談ホットライン」が4月から
スタートします。

通話料 無 料 0120-611-006

24時間/年中無休で、相談料は無料です。
本学学生と保護者の方が利用できます。

詳しくは千葉大学ホームページおよび学生
ポータルをご確認ください。

千葉県を中心にヤクルトのエリアフランチャイズ事業を展開する
千葉県ヤクルト販売。同社で社長を務める赤田玄朗さんに
経営者として考えていることや普段から心掛けていること、
千葉大学時代の思い出などを語っていただきました。

課題解決の手法や人生のあり方など
千葉大学での経験の数々が
人としての基礎を築いてくれた

千葉県ヤクルト販売株式会社
代表取締役社長

赤田 玄朗 さん

赤田 玄朗（あかだ・もとお）
千葉大学園芸学部卒業後、
1983年に株式会社ヤクルト
本社に入社。ルートセールスや
販売促進、マーケティングと
いった業務を経て、ヤクルト本
社の経営企画部門に配属され、
中期経営計画などに携わる。
2016年に千葉県ヤクルト販売
株式会社の社長に就任。

経営者として、現場に近い立ち位置で スピード感を持った仕事にこだわる

—— 最初に、赤田社長が代表を務められている千葉県ヤクルト販売について教えてください。

赤田 当社は、社名からもわかるとおり、千葉県内でヤクルトブランドの商品を販売する企業です。事業エリアは、野田市を除く千葉県と茨城県の一部。県内の5つのエリアに支社があり、その他にセンターと呼ばれる営業拠点が121カ所、さらにエステサロンも19カ所あります。ヤクルトでエステサロンというのは意外かもしれませんが、ヤクルトでは乳酸菌研究の知見を活かして、美容分野にも力を入れています。さらに、健康や美容に関する出前授業など、地域に密着した活動も行っています。スタッフは、正社員が約600名、ヤクルトレディ（YL）が約1,500名、コスメティック・ヤクルトレディ（CYL ※化粧品専売）約300名、パート従業員が約300名、総勢約2,700名という大所帯です。

—— 規模が大きいと事業方針などを共有するのも大変かと思います。経営にあたって意識されていることを教えてください。

赤田 社長のイメージといえば、どっしり構えているものだと思いますが、私はとにかく現場に足を運んで、多くの社員やスタッフと話をするように心掛けています。年に数回ある式典などでスタッフと接する機会はありますが、私が支社やセンターに向かうことでその機会をもっと増やすことができます。ヤクルトとお客様をつないでいるのは、約1,800名のYLやCYLの皆さんですから、全員と会うことはできなくても、少しでも多く現場に立つ方の声を吸い上げることができれば、組織を良くしていくための経営判断にも役立ちます。私は経営者として、判断をなるべく先延ばしにしないという姿勢を大切にしているので、今後も現場に近い立ち位置で、スピード感を持って仕事をするにはこだわっていきたいですね。

お客様も従業員も一緒に幸せになれる サイクルを具体的にイメージ

—— 千葉県ヤクルト販売では「笑顔」を大切にしているとのことですが、どのようなことを実践していますか？

赤田 「“ありがとう”の笑顔あふれる地域社会づくりに貢献しよう！」というビジョンを掲げていますが、これを

漠然としたイメージではなく、何をどうすればお客様が笑顔になっていただけるのかを具体的に考えていくことが重要だと思います。ヤクルトは予防医学をコンセプトとした商品ですから、まずはヤクルトをお客様にお届けすることで健康になっていただけます。ヤクルトに含まれる乳酸菌シロタ株は美容効果もあることが科学的に証明されているので、きれいになっていただくことでも喜ばれる。お客様に喜んでいただく機会が増えれば、それが売上や利益になるので、スタッフの待遇ももっとよくなってモチベーションが上がります。企業としてもサービスの質が上がるので、お客様にもさらに笑顔になっていただける。このように、お客様も従業員も一緒に幸せになれるサイクルを具体的にイメージすることで、ビジョンが実際の成果になってくるのだと思います。

—— 社長の仕事には、どのようなスキルや能力が必要だと思いますか？

赤田 ヤクルト本社での経営企画部門時代に携わっていたマーケティングや経営企画策定のノウハウが役に立っていますね。数字から状況を把握し、課題がどこにあって何が要因になっているのかを探り、課題解決のために決断するのが私の仕事ですから、数字やエビデンスをもとに可視化するというのはとても重要なんです。こうした課題解決の考え方を身に着けた背景には、改めて考えてみると大学時代の研究を通して学んだことが大きかったですね。

千葉大学のブランド力を誇りに すべての経験を大切に

—— 千葉大学でどのようなことを学びましたか？

赤田 私は、高校時代に生物部に所属していたことがきっかけで植物の研究に興味を抱き、千葉大学の園芸学部を進路に選びました。大学に入っても、生物学や化学の実験に没頭していたのを覚えています。ただ、ひとくちに園芸といっても分野は幅広く、数学や統計学にも興味があり、専攻は流通経済を選択したのですが、そこで出会った斎藤仁先生には大きな影響を受けました。斎藤先生は当時、研究を通して課題解決の方法だけでなく、人とかかわり方や人生のあり方まで指導してくださいました。私の基礎を作ってくれた恩人として今でも感謝しています。

—— 最後に、千葉大生へのメッセージをお願いします。

赤田 大学時代の経験は、無駄なことはひとつもないと思っています。恩師と語り合う時間、仲間と楽しく過ごす時間、勉強に没頭する時間、そして議論をする時間、すべてが社会に出たときに役立ちます。思い切り大学時代を満喫してください。また、私が千葉県ヤクルト販売の社長に就任してから感じるのは、千葉大学のブランド力の高さです。当社のエステサロンで千葉大学の環境健康フィールド科学センターで生産したハチミツを販売していますが、お客様からの評価も高いんです。そういうブランド力の高い大学で学んでいるという誇りを持ってほしいですね。

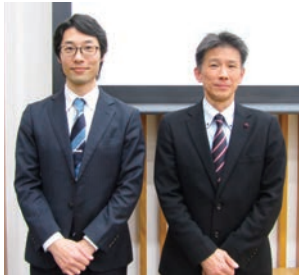


「大学主催のスキー教室で、他学部の学生と交流できたことが大きな思い出です」と語る赤田さん。

INFORMATION

地質時代「チバニアン(千葉時代)」誕生！ 亀尾准教授・泉特任助教が研究チームに参加

大学院理学研究院の亀尾浩司准教授と教育学部の泉賢太郎特任助教が参加する研究チームが、千葉県市原市の地層「千葉セクション」を地質時代を区切る境界を示す「国際境界模式層断面とポイント(GSSP)」とする申請をして



左から泉特任助教、亀尾准教授

いたところ、2020年1月17日に国際地質科学連合(IUGS)の審査を通過し、GSSPに認定されました。これに伴い、約77万4千年前～約12万9千年前の地質時代が「チバニアン(千葉時代)」と名付けられることになり、千葉大学の所在する千葉県に由来した地質時代の名称が誕生しました。GSSPは世界で70ヶ所以上が認定されていますが、日本では「千葉セクション」が初めてのGSSPとなります。

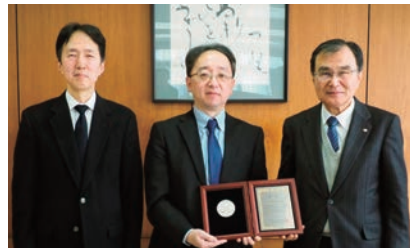


認定同日に国立極地研究所で行われた記者会見

AWARD

下馬場教授が 日本学術振興会賞を受賞

2020年2月18日、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研修者を顕彰する第16回(令和元年度)日本学術振興会賞を大学院工学研究院 下馬場朋禄教授が受賞しました。下馬場教授はコンピュータホログラフィの分野において、従来に比べ3桁以上の高速化を達成したホログラム高速演算手法の開発や、ノイズの発生しないホログラム計算手法の考案などの業績が評価されました。



左から関理事、下馬場教授、徳久学長

INFORMATION

医学部附属病院で 国民保護共同実動訓練を実施

2020年1月29日、医学部附属病院は内閣府・陸上自衛隊・千葉県・千葉市と合同で、千葉県国民保護共同実動訓練を実施しました。今回の訓練は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のテストイベント中の幕張メッセにおいて爆発物による多数の傷病者が発生した想定のもと行われ、搬送訓練やトリアージ、情報伝達といった緊急時対応の手順を確認しました。



陸上自衛隊ヘリによる搬送訓練

INFORMATION

「ながらとガラナ いろはにほへと」千葉大生が発案したドリンクが完成！

千葉大学と千葉県長柄町は、特産飲料水「ながらとガラナ いろはにほへと」を、長柄町内に拠点を置くジャパンフーズ(株)、(株)ナリツカコーポレーション、リソルの森(株)、(株)ミライノラボと共同開発しました。人口減少に直面する長柄町のPRを目的として、長柄町のタウンアドバイザーを務める田島翔太助教が中心となり、千葉大生たちが企画・開発・デザインを行いました。



お問い合わせ先:長柄町役場企画財政課
TEL:0475-35-2110

史跡「長柄横穴群」の壁面に基に、「長柄町の新たなスタート」をイメージ

EVENT

チャレンジド・サポート体験会 (障害疑似体験会)を開催

2020年1月9日、身体障害を持つ学生の支援を行う「チャレンジド・サポートみのり」は、さまざまな学部・学年から参加者を迎え、身体障害と介助方法の疑似体験会を西千葉キャンパスで開催しました。参加した学生たちは、アイマスクをつけて白杖を使つての階段歩行や、車いすによる室内と屋外の移動、視覚・聴覚障害を模した状態でのコミュニケーションを体験するなど、身体障害を抱える人にどのようなサポートができるのかを実感できる場となりました。



四肢障害の体験の様子

AWARD

「千葉大学サステナビリティレポート2019」が環境コミュニケーション大賞を受賞

千葉大学が発行した「千葉大学サステナビリティレポート2019」が、環境コミュニケーション大賞の環境報告書部門環境配慮促進法特定事業者賞を受賞しました。千葉大学では「環境報告書」を2004年度から毎年発行してきましたが、今年度から持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取り組みの記載を充実させるべく、名称を「サステナビリティレポート」と変更。作成は環境ISO学生委員会が主体となって行っており、学生が構成・取材・執筆・デザインを担当しました。



千葉大学環境管理責任者の倉阪秀史教授(中央)と、表彰式に参加した編集部員の磯野啄己さん(左)と橋優実さん

INFORMATION

オリジナルジャムが リニューアル! 果実をちりばめた ポップなデザイン

環境健康フィールド科学センターで生産・販売しているジャムのパッケージデザインがリニューアルしました。味はりんごやぶどうなど全9種で、柏の葉キャンパス内の農作物直売所「緑楽来」にて販売しています。



りんごを主としたスタンダードタイプ5種。この他にプレミアムタイプが4種あります

もっと
知りたい
千葉大学

海外の使節団をもてなした 園芸学部的前身校の庭園

1936年、ブラジル経済使節団一行が、園芸学部的前身校である千葉高等園芸学校を訪問しました。当時の新聞によれば「東洋一を誇る大温室をはじめ果樹蔬菜園を視察、教育施設の完備に賛嘆の声を放ち、新庭園の秋色を賞した」(『朝日新聞』同年9月24日夕刊2面)。さらに、1938年には「ペルー経済文化使節団」も来訪しています(『朝日新聞』同年11月2日夕刊1面)。東京近郊で、美しい庭園を備えていた同校は、海外の賓客をもてなす場となっていたようです。(大学院国際学術研究院 見城悌治)



当時の温室

CHIBATOMO ものがたり

4時限



学生・若手研究者のチャレンジを支え、未来を育てる

千葉大学 SEEDS 基金

千葉大学SEEDS基金は、ご寄附のもとに、学生の生活環境の整備、教育研究環境の整備、学生への奨学金の支援、国際交流事業の推進などを行っています。次世代を担う若者がより良いキャンパスライフを送れるよう、ご支援・ご協力をお願いいたします。



ホームページから寄附の申込みができます

詳しくは <http://kikin.chiba-u.ac.jp>

